

様式第3号（第4条関係）

## 会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会（第1回）
2. 開催日時 平成28年2月22日（月） 19時00分から20時30分まで
3. 開催場所 松川町役場 2階 協議会室
4. 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員  
鈴木弘（知久耕次郎）、溝口勝、宮下佳弘、川瀬八十治、北原忍、下平勉久、下澤政  
弥、関克義、森谷岩夫、橋爪和也、寺沢秀文、佐藤清、澤泰一、荻原正義、熊谷豊  
實、片桐美鈴、保科義浩、湯澤徳晴  
役場  
町長、副町長、米山課長、西浦係長、池田
5. 議題（公開）
  - （1）対策委員会の目的
  - （2）正副委員長の選出
  - （3）これまでの経過説明
  - （4）次回以降のスケジュール
  - （5）その他
6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）  
—
7. 傍聴人の数  
3人
8. 会議資料の名称
  - ・松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会設置要綱
  - ・リニア中央新幹線建設工事計画に関する組織イメージ図
  - ・リニア中央新幹線建設工事に係る経過等
  - ・残土情報提供箇所
  - ・リニア新幹線工事に伴う残土受け入れに関する要望（生東区）
  - ・統一要望書（生田区長会）

## 9. 会議の概要

### (1) 開会

### (2) 挨拶

### (3) 会議事項

#### ①対策委員会の目的（資料 No.1）

リニア中央新幹線建設工事計画に対し、情報を共有し、課題や対策検討する。（第1条）

リニア中央新幹線建設工事に係る情報の共有、課題や対策、その他検討が必要と認められる事項を検討し、町長に対して報告をしていただく。（第2条）

#### ②正副委員長の選出

委員長：議会議長 関克義

副委員長：区長会長 鈴木弘

#### ③これまでの経過説明（資料 No.2～6）

資料2のとおり

#### （下澤委員）生東区長

生東地区の道路改良が最大の目的である。候補地3つについては、ほとんどの地権者が同意している。福与区の住民の皆さんのためにも災害、水等の問題を解決した後に実施してほしい。

#### （湯沢委員）

現況どのような場所か。

#### （下澤委員）

丸ぼつき地積は、主に谷の場所。道と山の間30m傾斜地が多く平らにさせていただくと耕地として活用できる。

つつじ山地籍は、町道沿いに深い谷があり、平らにしたいと研究した経過がある。

本洞地籍は、ほとんど耕作していない地域である。地権者が多くいてまとまりきれいな部分がある。

#### （寺沢委員）

民有地に残土の手当は、借地か買収か。埋め立て後の所有権は、誰に帰属するのか。残土の受け入れの管理責任は誰がおうのか。

#### （事務局）

地元の要望に基づいて、埋め立て後活用していく。

埋め立て中の管理責任については、確認できていない。埋め立て後の管理は、地権者の方にお返ししていく。

(片桐委員)

大鹿の地質は、強度等の成分が疑問に感じる。松川町とは違った地質の残土を埋めることは、大丈夫なのか。

(事務局)

詳しい地質は、わからないが、発生土について有害物質の調査をし、クリアした上で村外に持っていくと聞いている。

(町長)

情報の共有をお願いしたい。残土受入の話のみならず、工事の関係車両等の交通の影響、子どもたちの通学への影響や振動等の細かい問題点がいくつもある。安全に対する担保を取っていくことも大事。委員の皆さんから多くの問題点を検討いただき、JRに聞きたい。

(下平委員)

区長等今年4月で変わる人もいる。当職で考えているのか。

(事務局)

当職で考えている。また、区長会長を副委員長にしたい。

(下平委員)

継続性を持っていくためにも区等の代表として一人選出した方がいいのでは。

(事務局)

検討する。

#### ④次回以降のスケジュールについて

第2回対策委員会では、実施主体であるJRから説明を受ける予定である。情報を基にそれぞれの各種団体へ持ち帰っていただき、課題について検討いただき、第3回対策委員会に繋げていきたい。第2回対策委員会を3月中に実施したいと考えている。

また、現地視察等についても計画していきたい。

(下澤委員)

各代表が変わる方もいるので、第2回対策委員会は、4月に入ってからで調整してもらいたい。

(事務局)

検討する。

(5) 閉会

以上